



電子業界におけるサプライチェーン全体での CSR への取り組み

エレクトロニクス業界のサプライチェーンの特徴として、調達構造が複層であること、グローバルに調達していること、また調達先であると同時に納入側になるケースもあるなど相互に関連し合っていることがあげられます。そのため、各社が個別に取り組みを実施するよりは、業界団体などで共通化できる部分は共同で実施するほうが効率的であり、サプライヤーの負担も軽減されます。

こうしたことから、海外および日本国内の電子業界などにおいて、業界全体で CSR に配慮したサプライチェーンの構築をめざした行動規範およびツールなどを策定する動きが加速しています。

社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) が「サプライチェーン CSR 推進ガイドブック」を公表

取引先などを含めたサプライチェーン全体で CSR を推進することが求められ始めている中、社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) が、エレクトロニクス企業が CSR のサプライチェーン展開を実施する上でガイドラインとなる「サプライチェーン CSR 推進ガイドブック」を 8 月に公表しました。このガイドブックは、次の 2 つの文書で構成されています。

- CSR 項目の解説
エレクトロニクス企業が CSR を推進する上で考慮すべき項目、その解説がまとめられている
- チェックシート
各 CSR 項目に対する取り組み状況を自己評価することができるチェックリスト

なお、このガイドブックは、先に、HP、Dell、IBM など米国エレクトロニクスメーカーを中心に制定された「電子業界行動規範 (EICC: Electronic Industry Code of Conduct)」の人権・労働、安全衛生、環境および公正取引・倫理という主要項目をカバーしており、高い親和性を持っています。

【関連リンク】

JEITA

<http://www.jeita.or.jp/japanese/press/2006/0809/0809.pdf>

電子業界行動規範 (EICC: Electronic Industry Code of Conduct)

2004 年に、HP、Dell、IBM など米国エレクトロニクスメーカーが共同で、サプライチェーンにおける適切な労働環境の維持と地球環境への配慮を目的に制定したもので、昨年 (2005 年) 10 月に改訂版が公表されています。

また、この規範に基づき、業界が共通で運用できるツールの開発が、GeSI (Global e-Sustainability Initiative) と共同で行われており、セルフアセスメントのためのツール (The Information and Communications Technology Supplier Self-Assessment Questionnaire) が公表されています。

【関連リンク】

EICC

<http://www.eicc.info/>

お問い合わせ： 株式会社あらたサステナビリティ
〒108-0023
東京都港区芝浦 4 丁目 2-8
住友不動産三田ツインビル東館 13 階
メールアドレス: arata.sus@jp.pwc.com

株式会社あらたサステナビリティ認証機構および株式会社あらたサステナビリティは、環境・サステナビリティ情報のアシュアランスおよびアドバイザリーサービスの提供を通じて環境・サステナビリティ・ディスクロージャーの発展を推進することを目的として、30カ国、400名余の専門家から構成される PwC Sustainability Business Solutions Team と連携しながら世界水準のサービスを提供しています。

© 2008 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved.

'PricewaterhouseCoopers' refers to the Japanese firm of PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the other member firm of PricewaterhouseCoopers International Limited, each of which is a separate and independent legal entity.